

高耐久デッキの製作ダイジェスト



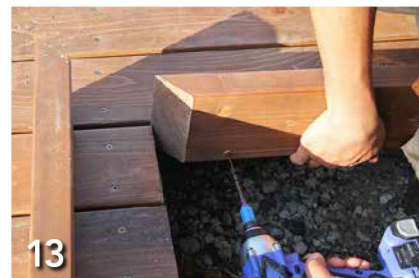
10 床の端部分は長い木材をガイドにして丸ノコで一気に切り落とすと楽ちん



11 ボールがある箇所は、型紙を作り床板をジグソーで切り欠いてから張る



12 幕板を固定。角部分は45度にカットしてつなぎ合わせた(留め継ぎ)



13 桜の木の周りに枠を固定。床の下端とそろえてビス留め。幕板と同様に留め継ぎにした



14 ステップを製作。樹脂製の束柱を置き、根太、床板、幕板の順に固定したら完成!



05 調整できたらアジャスターを木材に固定し、ベタ基礎に向かって下穴をあけてからコンクリート用ビスで固定。角部分は基礎に対して現物合わせで角度切りした



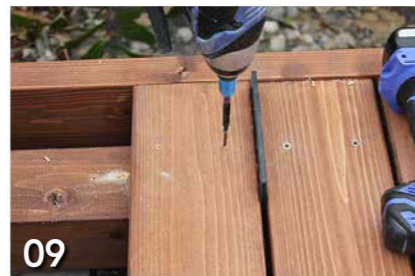
06 カットした木材の木口部分も忘れずに塗装しておく



07 幕板固定用の受け材



08 床板の固定。ビス位置がそろるように自作のジグを使って下穴をあける



09 床のすき間を等間隔にするため、スペーサーを挟みながら、下穴に向かってビスを打ち込む



01 施工場所にベタ基礎を設置(業者に依頼)。桜の木の周囲やポールなどを避けるように多角形になっている。また、奥と手前に2~3度の傾斜をつけて、水はけをよくした



02 (株)ジャンボにヒノキの国産材を発注。事前に塗装するために養生シートの上を広げる



03 水性ステインを木材に塗装。広い面はコテバケで一気に塗り広げるといい



サイズは0.7kg入り1900円、1.6kg入り3600円、3kg入り5500円、7kg入り8400円をラインナップ(すべて税込。オンラインショップ価格)

優れたコストパフォーマンスで人気の水性塗料「クレオパワーEX」

アクリルシリコン樹脂を配合し、木材に防腐・防虫・防カビ・防蟻、防藻性能を与える保護塗料。水性なので臭いが少なく、乾燥時間も早い(20℃で約2時間)ので扱いやすい。カラーは今回使用したウォルナットのほか、ライトウォルナット、けやき、ダークウォルナットの計4色。

web <https://www.washin-paint.co.jp/>



04 根太を配置。基礎と根太の間にアジャスターを挟み、水平になるように調整

塗料メーカーが本気で作った 高耐久のウッドデッキ作りに密着!

ヒノキの国産材をふんだんに使い、アクリルシリコン樹脂配合の木部用塗料でしっかり保護。1か月に及ぶ、頑丈&超広々デッキ作りドキュメントをお届け。

取材・文◎中村信之介(編集部) / 写真◎佐藤弘樹(施工中写真は提供) / 協力◎和信ペイント



根太用(90×90×4000mm)に約75本、床板・幕板用(40×120×3950mm)に約250本と、ヒノキの国産材を贅沢に使用した超広々デッキ

今回のウッドデッキ製作プロジェクトを立ち上げたのは、DIY用ニスと塗料メーカーの和信ペイント。「耐久性にこだわった社員たちのく

つろぎスペース」をテーマに、2021年に入ってから少しずつ製作を進めてきた。木材は世界の針葉樹のなかでも優



右/デッキの中央にはソメイヨシノ(写真奥)、ヤマザクラ(写真手前)が植樹されており、春はデッキ上でお花見も楽しめる!
左上/スペースいっぱいにデッキを設置するために、ベタ基礎の形状に合わせて、根太、幕板、床板はこのように角度切りして収めている
左下/デッキ手前のベタ基礎を敷いていない部分にはステップを設置。また、側面の下端のすき間は幕板を縦に割いて埋めている

ぐれた材として知られるヒノキをチョイス。特有の芳香と肌触り、加工性の良さが人気で、また耐湿・耐水性も非常に高いので耐久面でも申し分ない。ホームセンター・エンチャョーのグループ会社、(株)ジャンボから調達したこの国産材を、厚さ約200mmのベタ基礎の上にふんだんに使用。大きな桜の木が立つ本社敷地内の多角形の植栽スペースをフルに使うために、角度切りを多用してきっちり収めている。
こうして完成した面積80㎡以上の広大なウッドデッキは、社員たちの憩いの場として活躍中。製作のプロセスは次ページにてレポートしている。随所に見受けられるデッキ製作テクニクは参考になること間違いなし!

ウッドデッキ上面図

*単位はmm

